

DPCデータによる病院指標

1 はじめに

DPC制度とは、平成15年より導入された急性期入院医療を対象とした包括評価制度のことです。DPCは、Diagnosis Procedure Combinationの略で診断群分類を意味します。

DPC制度では、一般病棟の入院患者のうち、医療保険の適用となる方を対象とし、歯科入院となる場合等は含みません。そのため、以下は対象外となります。

- ・自動車賠償責任保険や労災保険、自費等の患者
- ・一般病棟を一度も使用しなかった患者等
- ・歯科治療のため、入院した患者等

2 当院の指標作成と公開の目的

市民の方々に情報公開をすることで現在の急性期医療について、理解を深めていただくこと、さらに当院の持つ様々な機能の質について、適切な指標を用いて数値化し、その数値について分析することで医療サービスの向上に対する職員の意識形成を図ることを目的としています。

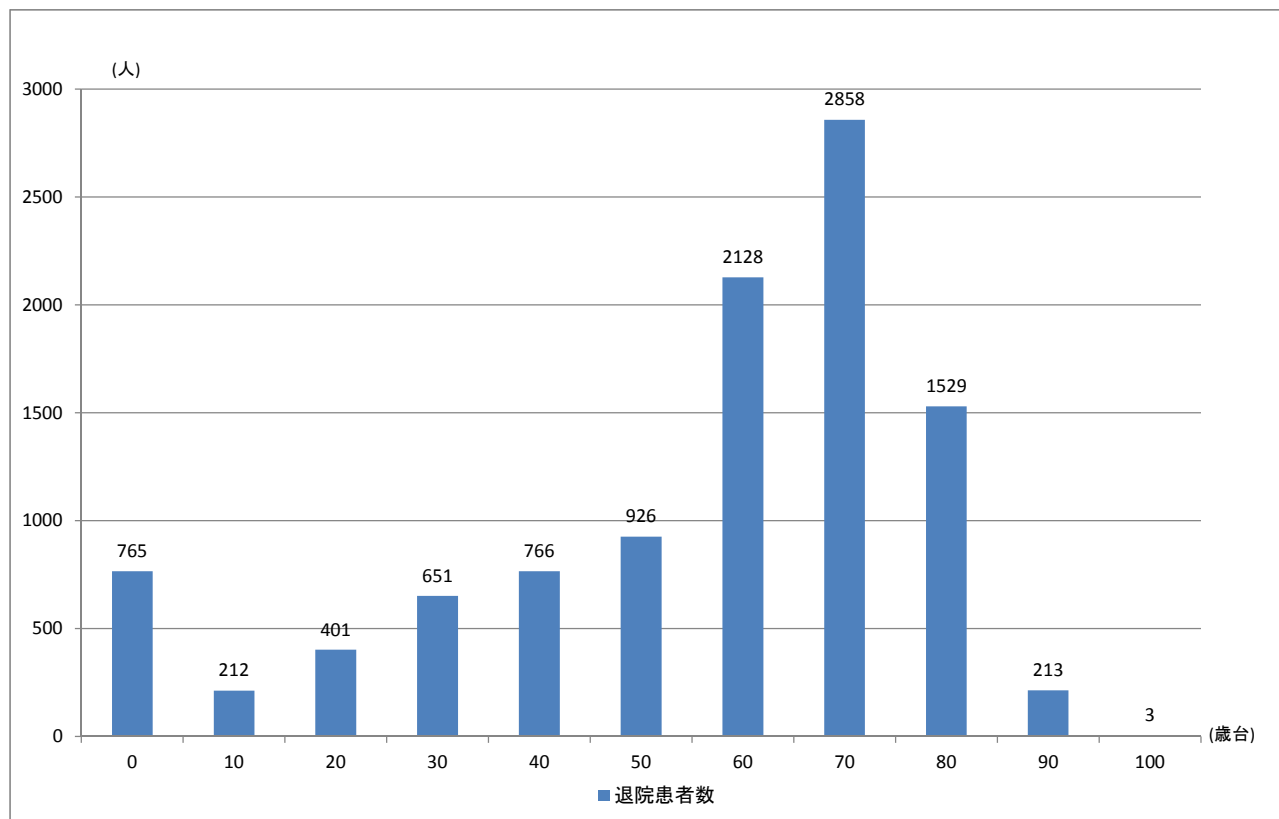
3 指標に対する集計期間と年齢

- ①集計期間……平成25年4月1日から平成26年3月31日の退院患者(DPC対象患者のみ)
- ②年齢……入院した時点の年齢(入院中に誕生日を迎えても加齢しない)

4 指標の項目

- ①年齢階層別退院患者数
- ②診療科別症例数トップ3
- ③初発5大癌の病期分類別ならびに再発患者数
- ④成人市中肺炎の重症度別患者数
- ⑤脳梗塞のICD-10別症例数
- ⑥診療科別主要手術の術前、術後日数症例数トップ3
- ⑦その他

①年齢階層別退院患者数



退院患者総数 = 10,452

I 定義

- ①集計期間に退院した患者さんを集計の対象としています。(ただし、入院から退院まで精神病棟に入院していた患者さんは除きます。)
- ②年齢は、入院した時点の年齢で集計しています。
- ③「0歳台」は「0歳以上10歳未満」を指し、109歳まで10歳ごとの階層になっています。

II 解説

60歳以降の患者の割合が全体の6割を超え、地域社会の高齢化を反映しています。また0歳以上10歳未満の患者数が比較的高くなっています。このうちの約3割が周産期に発生した病態および先天性の疾患によるものです。これは、東京都周産期連携病院としてリスクのある妊婦を受け入れていること、および新生児の入院に対応していることを示しています。

②診療科別症例数トップ3

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
呼吸器内科	040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上) 【特別な手術、処置を伴わないもの】	176	16.4%	17.6	15.1	11.4%	73.8	1,073
	040040xx9904xx	肺の悪性腫瘍 【化学療法(抗がん剤治療)の実施があるもの】	120	11.2%	14.8	14.8	0.8%	69.4	
	040040xx99100x	肺の悪性腫瘍 【気管支鏡などの検査を伴うもの】	109	10.2%	5.0	3.3	1.8%	71.0	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
消化器内科	060100xx02xx0x	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。) 【内視鏡下における切除の実施を伴うもの】	219	16.5%	2.4	2.8	0.0%	67.5	1,331
	060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 【体外ドレナージ(排石、排液)などの実施を伴うもの】	92	6.9%	14.0	12.0	4.3%	73.6	
	060140xx97x00x	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄(穿孔を伴わないもの) 【胃、十二指腸の内視鏡下止血術などを伴うもの】	53	4.0%	11.6	11.7	9.4%	66.2	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
循環器内科	050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 【心臓カテーテル検査を伴うもの】	322	23.7%	3.2	3.1	0.6%	67.2	1,360
	050070xx01x0xx	頻脈性不整脈 【心筋焼灼(心臓カテーテル治療)を伴うもの】	181	13.3%	6.1	5.9	0.0%	64.8	
	050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 【冠動脈形成(心臓カテーテル治療)などを伴うもの】	135	9.9%	5.7	5.1	0.7%	70.2	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
神経内科	010060x099030x	脳梗塞(JCS30未満) 【脳梗塞用薬剤(エダラボン製剤)の使用を伴うもの】	96	26.0%	18.0	19.2	40.6%	72.5	369
	010060x099000x	脳梗塞(JCS30未満) 【特別な手術、処置を伴わないもの】	91	24.7%	15.5	13.3	31.9%	73.4	
	010230xx99x00x	てんかん 【特別な手術、処置を伴わないもの】	32	8.7%	8.9	6.9	12.5%	62.2	

②診療科別症例数トップ3

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
腎臓内科	110280xx99010x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 【血液透析の導入初期であるもの】	40	11.6%	16.0	16.8	2.5%	67.2	346
	110280xx97x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 【何らかの手術行為・輸血等の実施を伴うもの】	37	10.7%	8.8	13.5	2.7%	70.1	
	110310xx99xxxx	腎臓または尿路の感染症手術なし 【特別な手術、処置を伴わないもの】	31	9.0%	10.8	12.8	6.5%	67.7	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
内分泌糖尿病内科	100070xxxxxxx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	202	51.0%	10.2	16.5	0.5%	61.7	396
	100180xx99000x	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍 【特別な手術、処置を伴わないもの】	23	5.8%	5.9	6.7	0.0%	59.7	
	100040xxxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 【特別な処置等を伴わないもの】	20	5.1%	13.3	14.8	0.0%	54.1	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
血液内科	130030xx99x40x	非ホジキンリンパ腫 【抗悪性腫瘍剤(リツキシマブ製剤)投与があるもの】	74	19.4%	15.2	20.2	2.7%	67.2	381
	130010xx97x2xx	急性白血病手術あり 【輸血および化学療法(抗悪性腫瘍剤投与)があるもの】	56	14.7%	34.0	45.5	5.4%	65.3	
	130030xx99x30x	非ホジキンリンパ腫手術なし 【化学療法(抗悪性腫瘍剤治療)があるもの】	29	7.6%	22.1	20.1	0.0%	70.2	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
リウマチ科	070560xx99x0xx	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患 【特別な手術、処置を伴わないもの】	48	22.3%	21.1	20.1	8.3%	62.2	215
	070470xx99x0xx	関節リウマチ 【特別な手術、処置を伴わないもの】	27	12.6%	16.5	15.4	0.0%	70.8	
	070470xx99x6xx	関節リウマチ 【インフリキシマブ製剤の使用を伴うもの】	16	7.4%	3.5	2.9	0.0%	50.6	

②診療科別症例数トップ3

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
外科	060160x002xx0x	鼠径ヘルニア(15歳以上) 【ヘルニア手術を実施するもの】	96	9.2%	4.8	5.6	0.0%	66.6	1,040
	060150xx03xx0x	虫垂炎 【虫垂炎手術を実施するもの】	56	5.4%	5.7	5.7	0.0%	28.2	
	060210xx99000x	腸閉塞 【特別な手術、処置を伴わないもの】	52	5.0%	11.3	9.4	3.8%	68.9	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
脳神経外科	010040x099x00x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外) 【特別な手術、処置を伴わないもの】	66	24.4%	24.6	21.7	60.6%	67.7	271
	160100xx02x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 【脳室ドレナージ(排出)などの実施を伴うもの】	35	12.9%	16.8	12.1	25.7%	78.6	
	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 【特別な手術、処置を伴わないもの】	31	11.4%	18.1	8.0	38.7%	62.8	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
呼吸器外科	040040xx01x0xx	肺の悪性腫瘍 【肺切除手術を実施するもの】	39	60.9%	15.8	13.9	0.0%	70.7	64
	040200xx01x00x	気胸 【胸腔鏡下肺切除術等の実施があるもの】	10	15.6%	14.2	10.1	0.0%	25.2	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
心臓血管外科	050080xx0101xx	弁膜症 【開胸による弁形成や置換術、およびそれに伴い人工呼吸等の実施があるもの】	21	30.0%	20.0	27.0	0.0%	70.0	70
	050050xx0111xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 【開胸により冠動脈形成術等を実施し、かつ心臓カテーテル検査および人工呼吸等の実施があるもの】	15	21.4%	27.0	30.9	0.0%	74.1	

②診療科別症例数トップ3

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
整形外科	160800xx01xxxx	大腿骨頸部骨折 【人工骨頭を挿入するもの】	76	22.5%	29.9	30.5	72.4%	77.8	338
	07040xxx01xx0x	変形性股関節症等 【股関節を置換するもの】	28	8.3%	26.6	27.0	3.6%	66.4	
	160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。) 【特別な手術、処置を伴わないもの】	22	6.5%	25.3	23.0	45.5%	75.6	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
産婦人科	120180xx01xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 【帝王切開術等により出産となるもの】	99	11.4%	9.5	10.1	0.0%	33.5	865
	120170xx99x00x	早産、切迫早産 【特別な手術、処置を伴わないもの】	59	6.8%	26.4	20.8	8.5%	29.7	
	120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍(子宮筋腫等) 【子宮を摘出するもの】	54	6.2%	9.2	10.6	0.0%	44.5	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
泌尿器科	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 【針生検(検査)を行い診断するもの】	115	23.7%	2.4	2.8	0.0%	69.0	486
	110070xx0200xx	膀胱腫瘍 【経尿道的に腫瘍切除を実施するもの】	60	12.3%	11.1	8.0	1.7%	72.5	
	11012xxx040x0x	上部尿路疾患(尿路結石、腎結石等) 【体外からの衝撃波による結石破碎を行うもの】	35	7.2%	2.3	3.1	0.0%	61.5	

②診療科別症例数トップ3

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
小児科	040080x1xxx0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳未満) 【特別な処置を伴わないもの】	121	16.2%	5.8	5.6	0.0%	1.9	746
	040100xxxxx00x	喘息 【特別な処置を伴わないもの】	94	12.6%	5.2	6.4	0.0%	3.6	
	140010x199x00x	新生児に関連する障害(出生時体重2500g以上) 【特別な手術、処置を伴わないもの】	87	11.7%	6.4	6.1	2.3%	0.0	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
眼科	020110xx97xxx0	白内障 【眼内レンズ挿入術を実施するもの】	289	96.3%	4.0	3.2	0.0%	74.5	300

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	030240xx01xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽喉頭炎 【切開、排膿を行うもの】	31	10.7%	7.4	7.1	0.0%	34.5	290
	030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽喉頭炎 【特別な手術、処置を伴わないもの】	30	10.3%	5.1	5.5	0.0%	35.9	
	030350xxxxxxxx	慢性副鼻腔炎	28	9.7%	6.6	8.0	0.0%	57.3	

診療科	DPCコード	DPC名称	症例数	診療科症例に占める割合	平均在院日数	全国平均在院日数(*)	転院率	平均年齢	診療科の総症例数
救急科	161070xxxxx00x	薬物中毒(その他の中毒) 【特別な手術、処置を伴わないもの】	54	12.0%	1.9	3.5	1.9%	37.8	451
	161060xx99x0xx	詳細不明の損傷等 【特別な手術、処置を伴わないもの】	19	4.2%	1.8	4.0	0.0%	52.8	
	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 【特別な手術、処置を伴わないもの】	12	2.7%	1.8	8.0	0.0%	27.3	

I 定義および表の説明

①DPCコードとは、入院で行われた治療行為を最も医療資源を投入した傷病名に手術、処置の有無などを組み合わせて示したもので「診断群分類」と呼ばれます。

②「全国平均在院日数(*)」は、Ⅲ群病院の全国平均在院日数を掲載しています。

DPC病院は厚生労働省により3つの群に分けられており、大学病院本院がⅠ群、大学病院本院の機能に準ずる病院がⅡ群、Ⅰ群・Ⅱ群以外の病院がⅢ群となっています。

③初発の5大がんの病期分類別ならびに再発患者数

初・再 部位	初 発 の 病 期 分 類						再 発	患 者 数 合 計
	0	I	II	III	IV	不明		
胃がん	0	51	5	10	29	1	19	115
大腸がん	9	16	26	33	14	4	19	121
肺がん	0	25	8	24	59	7	52	175
乳がん	7	13	15	12	5	2	3	57
肝がん	0	5	6	3	6	0	35	55

I 定義

- ①集計期間中に退院した患者さんが対象です。実患者数を集計しています。期間中に同じ患者さんが同じがんで入退院を繰り返しても1件と数えます。
- ②初発の病期分類は、がん取扱い規約に基づき分類しています。
- ③集計期間中に初発として集計されたものは、再発には集計しません。
- ④病期分類が確定される前に亡くなられた場合等は、病期分類は【不明】となります。

II 解説

患者数としては、肺がんが最も多くなっています。次いで、胃がんと大腸がんの患者さんが多く、特に胃癌は早期治療となる症例が多いことが特徴です。

当院は、「地域がん診療連携拠点病院」として様々ながんの治療を積極的に行っており、手術だけでなく、化学療法や放射線治療も行っています。

また緩和ケアについても、専任の医師、看護師およびケースワーカー等の多職種で構成されたチームが中心となり、悪性疾患と告知されたときから始まる「全人的な」サポートを行っています。

④成人市中肺炎の重症度別患者数

	症例数	平均在院日数	平均年齢
軽症	22	12.6	51.6
中等症	119	17.6	76.3
重症	35	28.0	80.5
超重症	20	26.3	79.5
不明	3	14.3	76.1
合計	199	19.5	74.4

退院患者総数=199

I 定義

- ①集計期間に退院した患者さんを対象にしています。
- ②この集計での成人とは、15歳以上の患者さんを指します。
- ③市中肺炎とは、普段の生活の中で罹患した肺炎を指します。
- ④入院契機傷病名および最も医療資源を投入した傷病名が、『肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎（DPCコード040080）』であるものが対象です。※インフルエンザ等のウイルス性肺炎（DPCコード040070）、誤嚥性肺炎（DPCコード040081）は対象外。
- ⑤重症度は、日本呼吸器学会による「市中肺炎ガイドライン」の重症度システム（A-DROP）に基づき分類しました。これは、血中尿素窒素、動脈血酸素飽和度等の7つの因子をそれぞれ評価し、判定するものです。因子に1つでも不明があると、重症度は不明となります。

II 解説

症例数では中等症の割合が最も多く、全体の約6割を占めており、平均在院日数も長くなります。
市中肺炎の治療は適切な抗菌薬の選択が重要になりますが、当院では多職種で構成する抗菌薬適正使用部会を中心に適切な使用を推進しています。

⑤脳梗塞のICD-10別症例数

ICD-10	最も医療資源を投入した傷病名	発症日から	症例数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作および関連症候群	3日以内	17	4.8	71.4	5.9%
		その他	0			
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	3日以内	0			
		その他	0			
I63\$	脳梗塞	3日以内	199	20.5	73.5	44.2%
		その他	12	17.8	74.6	41.7%
I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	—	1	4.0	73.0	0.0%
I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	—	0			
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	—	0			
I679	脳血管疾患、詳細不明	—	0			

I 定義

- ①集計期間に退院した患者さんを対象としています。
- ②ICD-10とは『国際疾病分類・第10回修正版』のことであって、死亡や疾病のデータの体系的な分析・解釈および比較を行うためにWHO(世界保健機関)により1990年に採択された国際基準です。

II 解説

当院では、全体の8割を超える症例について、発症から3日以内に治療を開始しています。迅速に治療を開始することで早期離床に繋がり、早期にリハビリテーションを開始することが出来ます。また、その後の回復期のリハビリテーションへスムーズに移行することにより、発症後のADL(日常生活動作)障害が軽減されます。そのため脳卒中診療の基幹病院として、緊急に治療が必要な急性期の患者さんを常に受け入れることが出来るように体制の確保に努めています。当院での治療後は、重症度に応じて自宅退院、回復期リハビリテーション専門病院への転院へ移行となりますが、転院の際には「脳卒中連携パス」を用いて、地域の医療機関と情報共有を図るとともに継ぎ目のない医療を実現するためにケースワーカーを中心に退院の調整を行っています。

※I693 脳梗塞の続発・後遺症は集計対象外

⑥診療科別主要手術の術前、術後日数症例数トップ3

【呼吸器内科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K664	胃瘻造設術	13	24.8	23.2	72.7%	79.7	・誤嚥性肺炎 等

【消化器内科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル未満	202	0.5	1.5	0.0%	68.6	・大腸ポリープ
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	95	7.7	18.6	11.4%	76.3	・閉塞性黄疸 ・急性胆管炎 等
K654	内視鏡的消化管止血術	88	2.1	13.5	9.3%	66.4	・上部消化管出血 ・胃潰瘍 等

【循環器内科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K549	経皮的冠動脈ステント留置術	271	2.3	6.8	1.5%	69.9	・狭心症 ・急性心筋梗塞 等
K5951	経皮的カテーテル心筋焼灼術 心房中隔穿刺又は心外膜アプローチを伴うもの	114	2.5	3.1	0.0%	67.7	・心房細動 ・心室頻拍 等
K5952	経皮的カテーテル心筋焼灼術 その他のもの	79	2.9	3.7	1.3%	62.6	・心房細動 ・心室頻拍 等

【腎臓内科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K610-3	内シャント設置術	66	7.0	9.8	13.6%	71.3	・慢性腎不全
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	51	1.3	3.0	5.9%	71.1	・透析シャント狭窄 (慢性腎不全 シャント造設後)

※10症例以上を集計の対象としています。

※退院時診療科で集計しているため、必ずしも『診療科』=『手術実施科』ではありません。

⑥診療科別主要手術の術前、術後日数症例数トップ3

【外科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K6335	ヘルニア手術 鼠径ヘルニア	113	1.5	2.7	0.0%	64.3	・鼠径ヘルニア
K7181	虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	62	0.6	5.3	0.0%	30.3	・急性虫垂炎
K7193	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)	51	6.8	15.6	5.9%	73.1	・結腸(盲腸～S状結腸)がん 他

【脳神経外科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	42	2.5	15.5	24.4%	79.1	・慢性硬膜下血腫 (外傷性・非外傷性)
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング 1箇所	20	1.8	44.5	52.6%	61.2	・脳動脈瘤
K145	穿頭脳室ドレナージ術	17	2.8	45.6	76.9%	65.2	・水頭症 ・脳内出血 等

【呼吸器外科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K5143	肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	31	2.4	12.6	0.0%	71.1	・肺がん
K5131	胸腔鏡下肺切除術 肺嚢胞手術(楔状部分切除によるもの)	11	7.3	6.5	0.0%	30.0	・気胸

【心臓血管外科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K5551	弁置換術 1弁のもの	25	7.3	15.7	0.0%	70.9	・弁閉鎖不全症 等
K552-22	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないもの) 2吻合以上のもの	16	7.6	16.5	0.0%	75.0	・狭心症 ・心筋梗塞 等

※10症例以上を集計の対象としています。

※退院時診療科で集計しているため、必ずしも『診療科』=『手術実施科』ではありません。

⑥診療科別主要手術の術前、術後日数症例数トップ3

【整形外科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K0461	骨折観血的手術 大腿	39	4.5	22.2	71.8%	81.3	・大腿骨近位端骨折 ・大腿骨骨幹部骨折 等
K0811	人工骨頭挿入術 股	29	6.0	25.7	69.0%	78.6	・大腿骨頸部骨折
K0821	人工関節置換術 股	27	4.5	23.0	3.7%	66.1	・変形性股関節症 等

【産婦人科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K8982	帝王切開術 選択帝王切開	103	7.5	6.8	0.0%	33.9	・骨盤位 ・既往帝王切開分娩 等
K877	子宮全摘術	91	1.3	7.4	0.0%	50.2	・子宮筋腫 ・子宮体がん 等
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術 開腹によるもの	88	1.3	7.6	0.0%	50.0	・卵巣のう腫 ・卵巣腫瘍

【泌尿器科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K8036口	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 その他のもの	70	1.7	8.2	1.4%	73.0	・膀胱がん
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	43	1.4	4.0	2.3%	64.6	・水腎症 ・尿管狭窄
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破碎 術(一連につき)	36	0.4	1.1	0.0%	61.6	・腎結石症 ・尿管結石症

※10症例以上を集計の対象としています。

※退院時診療科で集計しているため、必ずしも『診療科』=『手術実施科』ではありません。

⑥診療科別主要手術の術前、術後日数症例数トップ3

【眼科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K28210	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの	289	1.0	1.9	0.0%	75.0	・白内障

【耳鼻いんこう科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K368	扁桃周囲膿瘍切開術	32	0.2	6.1	0.0%	35.3	・扁桃周囲膿瘍
K3772	口蓋扁桃手術 摘出	31	2.0	7.9	0.0%	19.2	・慢性扁桃炎 等
K6261	リンパ節摘出術 長径3cm未満	12	0.2	1.0	0.0%	66.9	・リンパ腫の疑い

【救急科】

Kコード	名称	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	適応病名
K0004	創傷処理(筋肉、臓器に達しない) (長径5cm未満)	11	0.0	2.6	0.0%	42.9	・各部位、切創・挫創

※10症例以上を集計の対象としています。
 ※退院時診療科で集計しているため、必ずしも『診療科』=『手術実施科』ではありません。

⑦その他

D P C	最も医療資源を投じた傷病名	入院契機病名との異同	患者数	発症率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	11	0.11%
		異なる	18	0.17%
180010	敗血症(一歳以上)	同一	38	0.36%
		異なる	20	0.19%
180035	その他の真菌症	同一	1	0.01%
		異なる	1	0.01%
180040	処置・手術等の合併症	同一	92	0.88%
		異なる	8	0.08%